

新生・鴨島中学校の開校に向けて
～交流活動（合同レクリエーション大会）の開催～

令和9年4月に開校する新生・鴨島中学校に向けて、両校（鴨島東中・鴨島第一中）の生徒が互いに交流し、親睦を深める取組を進めています。その第一歩として、令和8年8月3日（月）日本フネン市民プラザにて、2年生を対象に合同レクリエーション大会を開催しました。

生徒会を主体に、①「じゃんけん列車」②「しっぽ取りゲーム」③「王様ドッジボール」の活動を通して、最初は少し緊張した表情も見られましたが、ゲームが進むにつれて自然と笑顔や歓声が広がり、学校の垣根を越えて声を掛け合う姿や協力し合う姿が数多く見られました。

こうした交流の積み重ねが、子どもたちの安心感や信頼関係を育み、新生・鴨島中学校の温かな校風へとつながっていきます。鴨島中学校は統合した日ではなく、子どもたちの心がつながったときに本当の意味で始まります。今回の交流活動は、その第一歩となる大切な一日（時間）となりました。



【開会行事】

進行も東中・一中の生徒が交代で行いました。松本校長先生から「今日の合同レクリエーション大会が鴨島中学校開校に向けた記念すべき1ページになることを願っています」とのあいさつがありました。



【じゃんけん列車】

終盤になると各列車も後ろに長くなり、先頭（運転手）のじゃんけんも気合が入ってきます。見てください！勝った運転手さんは、喜びのあまり身体が宙に浮いています。大喜びの瞬間です！



【王様ドッジボール】

小学校時代によくやったドッジボールです。王様が鍵になります。王様をいかにして守るか、これもポイントです。いつの時代もドッジボールは盛り上がります。生徒にインタビューしても、ドッジボールが一番人気でした。



【表彰式】

がんばったチームの代表が前に出て表彰が行われました。2時間近くのレクレーション大会、やり終えた感に満ち溢れていました。閉会行事で堀川校長先生が「鴨島中学校は、校舎が一つになるだけではありません。みんなの心が一つになってこそ統合です」とのあいさつがありました。今日の交流は、正にその一步を達成できたのではないのでしょうか。



【記念写真】

この写真が、鴨島中学校の歴史、伝統を築く第一歩としての正に記念すべき一枚の写真になったと思います。生徒と先生が力を合わせて、未来を見据えてがんばっていきましょう！

学校統合は、二つの学校を一つにすることが目的ではありません。

子どもたち一人一人が新しい仲間と出会い、多様な考え方に触れながら互いを認め合い、高めあい、「みんなで新しい学校を創っていこう」という気持ちを育むことに大きな意義があります。

吉野川市教育委員会では、今後も子どもたちが希望と期待をもって開校の日を迎えられるよう、交流活動を継続し、「子どもが主役」の学校づくりを着実に進めてまいります。

保護者の皆様、地域の方々には、引き続き、温かいご理解とご協力をお願いいたします。